

## R7年度 学校評価アンケートの結果

### 【結果から】

◇概ね「3」以上の評価が多く、安定した学校運営ができていることに感謝します。更に来年度、向上させていくために…という視点で、下記のように挙げさせていただきます。

- ・自分の生き方を見つめ、学習や生活をしているという項目の評価が、生徒、保護者共に低い。保護者の評価は2.8と特に低く、生き方学習やキャリア教育実施状況が伝わっていない。又はそれらの教育の成果が感じ取れていない。
- ・自分の良さが分かっている生徒の割合が低い。また、保護者も子どもが自分の良さを分かっていると思っていない。
- ・生徒は学習に関わって、仲間と考えを深め合う、交流する、課題を克服する授業があると答えている一方、保護者にはそういった生徒の状況が伝わっておらず、「わからない」と回答が多くなっている。
- ・地域の人たちと交流する機会や地域ボランティアや地域活動に関する情報が、生徒に十分伝わっていない。
- ・ぎふ・MIRAI's や総合的な学習の時間に取り組んでいるキャリア教育の内容が、保護者に伝わっていない。
- ・いじめや偏見、差別に関わる指導について、保護者の36.4%が「わからない」と答えている。

### 【次年度の方向】

○教科、生き方学習やキャリア教育等、学校での学びの様子を保護者に広く知ってもらうために、授業参観の回数を増やす。

現 行 教科 … 4月、スポーツフェスティバル …5月、合唱フェスティバル …12月

①R8年度は、現行に教科の授業参観を1回増やす。時期は11月。 ※2～3校時の2時間で自由参観とする。

②様々な高等学校から講師を招き、生徒や保護者が少人数に分かれ、「高校の説明や特色について聴く会」を実施する。受け身の進路選択ではなく、生徒やその保護者が主体的に考える進路選択できるようにする。

○自分の良さを理解できるよう、特別活動で自己理解、他者理解を深められるような仲間づくり活動（エンカウンター等の『子どもたちが共通点を見つけて安心感を得る』『違いを認めて多様性を理解する』『仲間意識を育てる』）を仕組む。

①特活指導部から仲間づくり活動の具体を提案してもらい、職員会毎に提案をしてもらう。

②三者懇談（7月、3月）で、生徒自身が立てた目標や自分が頑張っていることについて、生徒自らがプレゼンし保護者に知ってもらう。

※3年生は、2回目の懇談が11月に行われ、この時期は進路に関わる相談が主となる。3年生と語る会で1・2年に語る。

○ホームページを充実させ、学校教育活動について広く知ってもらい、家庭と共につくる取り組みを行う。

①各学年に情報担当を設け、担当者がホームページの更新を行い、本校の教育活動の状況をアップしていく。